

数学科（数学 I）学習指導案

日 時	平成 29 年 6 月 16 日（金）第 1 限		指導者	土居 晃大	
学 級	普通科 1 年 2・3 組 A 講座		教 室	103 教室	
単 元	第 3 章 2 次関数		教科書	改訂版 新編 数学 I（数研出版）	
指 導 目 標	<p>1 関数の概念やグラフの意味を理解させるとともに、グラフの移動について理解させる。</p> <p>2 2 次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>		指 導 計 画	<p>第 3 節 2 次関数の値の変化</p> <p>1 2 次関数の最大・最小 …… 4 時間</p> <p>2 2 次関数の決定 …………… 2 時間 (本時はその 1)</p>	
本 時 の 指 導 過 程	主 題	2 次関数の決定		課 題	練習 23 を解いて、板書させておく。
	目 標	<p>1 グラフの頂点や軸などの条件から 2 次関数の方程式を求めさせる。</p> <p>2 2 次関数の係数を変数とする連立 3 元 1 次方程式を立て、解けるようにさせる。</p>			
		学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準 ・ 方 法 、 資 料 等
	導 入	<p>1 課題の確認をする。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> 「目標」を提示する。 条件によって放物線がただ 1 つに決まることを確認させる。 	<p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> PC、プロジェクタ
	展 開	<p>1 学習内容を説明する。 例題 6 例題 7 次の条件を満たす放物線 (1) 頂点と 1 点を通る (2) 軸と 2 点を通る (3) 3 点を通る</p> <p>2 練習問題(グループ学習) 練習 22 練習 24</p> <p>3 確認テストを行う。</p>	10 15 10	<ul style="list-style-type: none"> 説明に集中させるために、ノートを取らせない。 4～6 人のグループに分かれて、練習問題に取り組ませる。お互いに質問したり、説明したりしながら協力して問題をすべて解かせる。 グループで答案を交換して採点し合わせ、間違った問題があれば教え合いで理解させる。 	<p>【資料】プリント</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グラフと式を関連付けて考察することができている。 (数学的な見方や考え方) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観察により生徒の理解状況を確認する。
整 理	<p>1 本時のまとめをする。</p> <p>2 次時の課題と学習内容を確認する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> 最初に提示した「目標」が達成できたか、自分がまだできないことは何かを振り返らせる。 	<p>【資料】振り返りカード</p>	
備 考	生徒数 37 名 (男子 18 名, 女子 19 名)				